



CSR 報告書 2020

株式会社 **デンソートリム**
DENSO TRIM CORPORATION

もくじ

| | |
|---------------------|----|
| 1. 会社概要／製品概要 | 2 |
| 1-1. 会社概要 | |
| 1-2. 製品概要 | |
| 1-3. トピックス | |
| 2. 社長メッセージ | 4 |
| 3. デンソートリムのCSR | 5 |
| 3-1. 基本的な考え方 | |
| 3-2. デンソーグループ企業行動宣言 | |
| 3-3. デンソーグループ社員行動指針 | |
| 3-4. デンソーグループスピリット | |
| 4. 社会性報告 | 7 |
| 4-1. お客さまとともに | |
| 4-2. 社員とともに | |
| 4-3. 地域・社会とともに | |
| 5. 環境報告 | 19 |
| 5-1. 環境方針 | |
| 5-2. 環境監査体制 | |
| 5-3. 環境推進体制 | |
| 5-4. 環境行動計画 | |
| 5-5. 法規順守状況 | |
| 5-6. 生産環境負荷削減 | |
| 5-7. 環境活動状況まとめ | |
| 6. 製品を通じての社会貢献 | 23 |

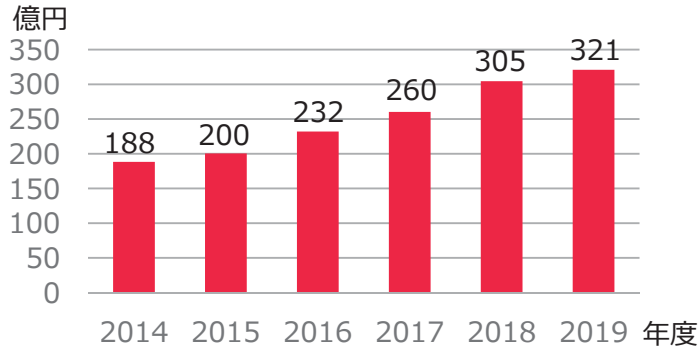
本社本館・技術棟



1. 会社概要／製品概要

1-1. 会社概要

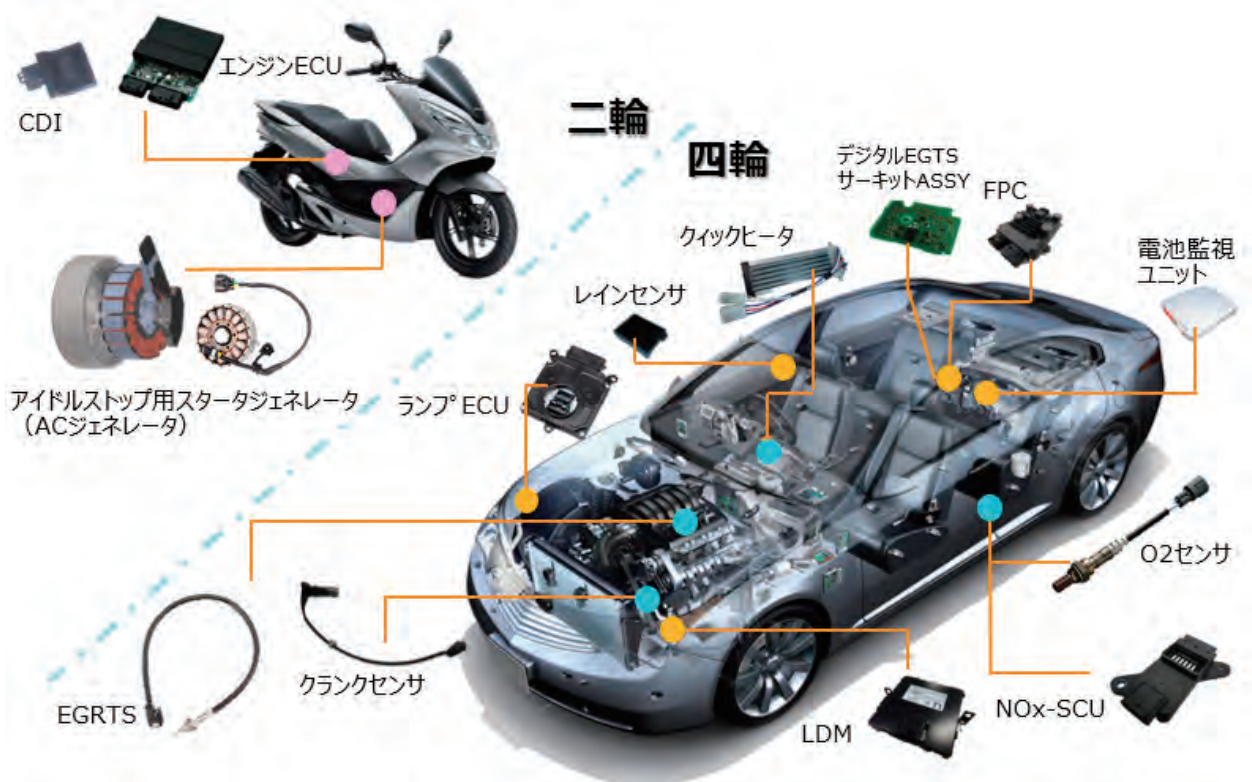
| | |
|---------|---|
| 社名 | 株式会社デンソートリム |
| 所在地 | みえけん みえぐん こものちよう おおごはら あかさか 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460 |
| 設立 | 1990年3月30日 |
| 代表取締役社長 | 取締役社長 山下洋一 |
| 資本金 | 3億1千万円 |
| 従業員数 | 828名（2020年3月末現在） |
| 売上高 | 億円 |



1-2. 製品概要

デンソートリム設立のきっかけとなった二輪車用ACジェネレータ（交流発電機）は、会社設立以来つくり続けており、研究・開発から製造まで一貫体制で生産しています。

現在では「エンジンECU・ランプECU・ハイブリッド車用制御装置」などの電子製品や「O2センサ」などのセラミック製品も担当し、二輪車・四輪車などに欠かせない製品を生産しています。



1-3. トピックス

関連するSDGs



(1) 敷地内に井戸を設置 **TOPIC**

省エネ対策や災害対策の強化を狙い、本社敷地南東に井戸を設置しました。省エネ対策としては井戸から汲み上げた水を特殊なスプリンクラーで屋根に撒き、屋根を冷やすことで空調電力を節約しCO2の発生を抑える試みを実施しています。災害対策としては、この井戸水を緊急時に生活用水や飲み水として活用していく予定です。



本社敷地南東の井戸（11月）

(2) 地元テレビ局の取材を受け入れ **TOPIC**

2019年12月、地元四日市市のケーブルテレビ局であるCTY製作のテレビ番組「我が町の社長さん」の取材がありました。同番組は地元企業のトップが自社の取り組みや今後の展望をじっくりと語る番組で、当社や山下社長が紹介されました。同番組は2020年2月にCTYで放送された後、2021年2月まで番組HPで配信されます。



撮影の様子（12月）

番組HP⇒https://www.cty-net.ne.jp/community/channel/12ch_10

(3) 健康経営優良法人2020に認定 **TOPIC**

当社は2020年3月2日付で「健康経営優良法人2020」に認定されました。健康経営優良法人とは2017年から始まった健康経営優良法人認定制度により、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度であり、経済産業省と日本健康会議が共同で進めるものです。



(4) モノづくり棟竣工 **TOPIC**

本社敷地南西の倉庫跡地に建設を進めていたモノづくり棟が完成し、3月26日に竣工式を行いました。竣工式は新型コロナウイルス問題の影響を鑑みて、最低限の関係者のみ短時間で行いました。

今後モノづくり棟には本館工場内にある人材育成・教育用の道場（わかば・検定・品質・安全の各道場）を移設して、人材育成の拠点となる予定です。



モノづくり棟（3月）

2. 社長メッセージ

デンソートリムはデンソーグループの一員として、自動車産業において二輪車用点火製品の開発～生産、四輪車用エンジンコンポーネント製品の設計～生産、四輪車用電子製品の生産の3つの事業を担っており、これらの事業を通じて「地球環境の維持」と「安心・安全に暮らせる社会づくり」に向けて全力で取り組んでいます。



2019年に2025年の会社の目指す姿を「デンソーのパワトレイン領域で、二輪、四輪エンジンコンポ、四輪電子の3つの事業で持続的成長を図り、デンソーグループの成長に貢献するとともに、車社会に貢献する」と定め、これを達成するためのスローガンを「技術と技能と感性を磨きお客様に喜ばれるモノづくり」としました。

また広く世界に目を向けると、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs) *」や、2016年に発効されたパリ協定を受けて、国際社会では社会課題の解決に対する企業への期待・要望が加速しています。企業には自社が生み出す価値で、社会の持続的成長に貢献することが求められていると言えます。このような状況の中、当社が事業活動を進めていく上で基盤となるのは、CSR (企業の社会的責任) のレベルアップ活動であり、ステークホルダーの皆様の声を経営に活かしていきたいと思えます。

2019年度の活動の一部を紹介しますと、会社として健康経営に努め「健康経営優良法人2020」に認定され社員の健康管理に意を払うことや、工場の活動としてモノづくり棟を竣工し技能を磨き上げる道場活動を強化し全国QCサークル大会で「感動賞」「石川馨奨励賞」を受賞するまで品質力を高めることができました。

また製品の活動として、排気ガス低減やハイブリッド等の地球環境に優しい製品の設計・生産を拡大し、ヘッドライトの明るさを制御する電子装置は累計生産1千万台を達成して省エネに貢献することができました。

しかし近年自動車業界では100年に一度と言われるパラダイムシフトが起こりつつある大事な節目の時期であることに加え、2020年初頭より世界的に新型コロナウイルス (Covid-19) 感染が拡大しグローバル経済に大打撃を与え、人々の生活を一変させる事態となっています。企業としてしっかりとした対策を取り事業活動を継続することも重要なCSR活動と捉え、社員一丸で社会貢献の意識を高め、長期方針の目指す姿の実現に向け、積極的に活動を続けていきます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年11月

デンソートリム株式会社

取締役社長 山下洋一

*持続可能な開発目標 (SDGs) とは?

2015年9月に150を超える首脳が参加する「国連持続可能な開発サミット」の成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択。人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。

この目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」です。「サステナビリティ」を考える上での世界の共通言語として位置付けられるものです。



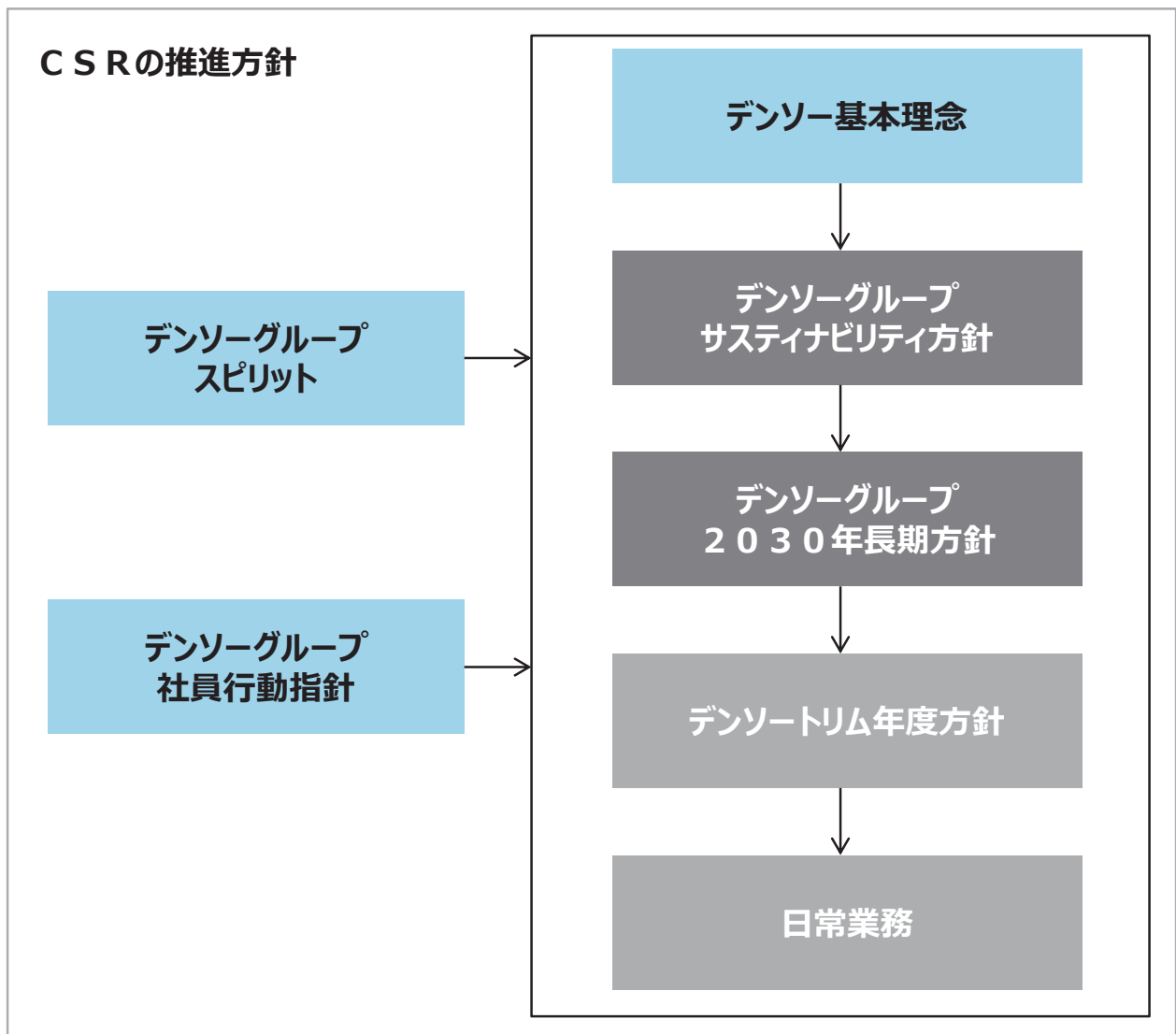
3. デンソートリムのCSR

3-1. 基本的な考え方

デンソーグループは、基本理念の中で「世界と未来をみつめ新しい価値の創造を通じて人々の幸福に貢献する」ことを使命として掲げています。この使命を実現するには、多くのステークホルダーと価値観を共有しながら連携・協力していくことが不可欠であり、その基盤となるのが「社会から信頼・共感される企業行動」です。

これを世界中で事業活動を行うデンソーグループ各社が実践していくため、2006年4月、「デンソーグループ企業行動宣言」を策定し、ステークホルダーへの責任を明らかにしました。さらに2018年12月には、「デンソーグループサステナビリティ方針」へと改定し、社会の持続的発展へ率先して貢献していくことを宣言しました。このようにデンソーグループはCSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）を経営の中核に据え、事業活動を通じた持続可能な社会づくりへの貢献に取り組んでいます。

そして、2017年に策定された長期経営方針「デンソーグループ2030年長期方針」を受け、私たちデンソートリムはデンソーグループの一翼を担う企業として、デンソーグループ企業行動指針に基づき、計画と目標を立てCSR活動を推進しています。



3-2. デンソーグループサステナビリティ方針

【宣言文】（抜粋）

私たちは、社会の持続的な発展に率先して貢献します。

- (1) 変化を先取り、技術や生産方法あるいは組織、マネジメントなどの変革を通じて、社会に有用かつ安全な商品・サービスを開発、提供し、社会的課題の解決に努めます。
- (2) 国の内外において、関係法令、国際ルールとその精神を順守し、各国・地域の文化・歴史を尊重しつつ、高い倫理観をもって、健全かつ公正な事業活動に努めます。
- (3) 労働時間、休日、賃金などの基本的労働条件に関する各国・地域の法令を順守するとともに、健康と安全に配慮した働きやすい職場環境の維持・向上に取り組みます。
- (4) 社会との共生をめざし、事業活動を行うあらゆる国・地域において、独自にまたはパートナーと協働しながら積極的によりよい社会づくりに参画し、その発展に貢献します。

3-3. デンソーグループ社員行動指針

社員一人ひとりがデンソーグループの一員として、各ステークホルダーにどのような心構えで、どのような行動をとるべきか、そのガイドラインを示したものです。社員一人ひとりが社会に果たす役割を常に意識し行動するよう、指針の浸透を図っています。

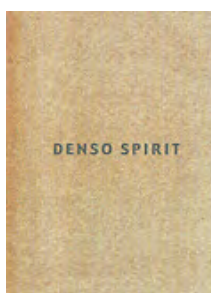


目次

- I. デンソーグループの一員として
- II. 生き生きとした職場をめざして
- III. あらゆるお客様の信頼と期待に応えるために
- IV. 仕入先との共存共栄をめざして
- V. 株主の信頼と期待に応えるために
- VI. 社会と共生するために

3-4. デンソーグループスピリット

真のグローバル企業として成長・発展するため、グループ全体で共有すべき価値観・信念を明示したものです。



企業成長の原動力は「先進」「信頼」「総智・総力」
デンソーグループスピリットは、創業以来、暗黙知として連綿と継承されてきた「先進」「信頼」「総智・総力」の考え方を2004年に明文化し、あらゆる分野で取り組みを推進する原動力として機能するため、17カ国語に翻訳し、グローバルな共有に注力しています。

4. 社会性報告

4-1. お客さまとともに - 品質 -

関連するSDGs



品質を支えるのは、人の力。品質第一主義を基本に高品質なモノづくりに努めています。そのため、独自の教育システムを構築して社員教育を推進するとともに、デンソーグループの教育カリキュラムにも参加しています。従業員一人ひとりが必要なスキルを身に付け、お客さまの満足向上につなげています。

(1) 品質保証の基本方針

1. お客様に対する品質第一主義に徹する
2. 仕事の各段階で最初から正しく品質保証する
3. 全員参加による品質管理を推進する

(2) 社員教育

①わかば道場（社内教育訓練道場）

新入社員の導入教育において、座学（OFF-JT）と訓練（OJT）を融合し、モノづくりに対する考え方を習得します。また、新入社員だけでなく、中堅・職制の教育、さらに国家検定練習の場とし、人材育成に活用しています。

②階層別教育・職能別教育（全社的に推進する教育）

目指す人材は、「自ら学び、自ら考え、挑戦し続ける人材」とし教育をしています。特に、グローバル対応力強化の為にメニュー作りを強化しています。

階層別教育：役職階層及び管理推進業務指名者に必要な役割意識、意欲の向上
管理手法の習得を図る教育

職能別教育：各職能に必要な専門知識・能力向上を図る教育

| | 階層別教育 マネジメント | 階層別教育 グローバル | 職能別教育 事務分会 | 職能別教育 技術分会 | 職能別教育 技能分会 |
|-----|--|---|--|--|---|
| 管理職 | <ul style="list-style-type: none"> ・TQC ・課題形成能力向上 ・コーチング ・MBC | <ul style="list-style-type: none"> ・出向者の役割 ・海外人事管理 ・地域スタディ ・現地語教育 | | <ul style="list-style-type: none"> ・新任課長特許・品質 | <ul style="list-style-type: none"> ・異常処置認定 ・特殊工程講師 |
| 指導級 | <ul style="list-style-type: none"> ・課長安全教育 ・5等級研修 ・リーダーシップ ・班長（倫理機密） | <ul style="list-style-type: none"> ・Gコミュニケーション ・マネジメント勉強会 ・工場マネジメント ・人事労務管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・生産管理製品2級 | <ul style="list-style-type: none"> ・新任係長品質 | <ul style="list-style-type: none"> ・高度技能研修（デンソー） ・新任班長環境教育 ・TIE上級 |
| 中級 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題発表 ・仕事の教え方 ・人の扱い方 ・中堅社員 | <ul style="list-style-type: none"> ・海外経験者講演会 | <ul style="list-style-type: none"> ・原価計算 ・法務 ・海外事業概要 ・生産管理製品1級 | <ul style="list-style-type: none"> ・技術検定 ・実験計画法 ・品質管理 ・生産技術中級 | <ul style="list-style-type: none"> ・国家技能検定 ・オペレータ研修 ・C級計測器 ・安全・衛生、資格 |
| 初級 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決 ・働く心構え ・仕事の進め方 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己啓発「英会話」 ・自己啓発「英文筆記」 （初級～管理職） | <ul style="list-style-type: none"> ・製品知識 ・業界知識 ・原価基礎 ・TIE基礎 | <ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ研修 ・特許・基礎技術 ・原価と原価管理 ・製品知識 | <ul style="list-style-type: none"> ・PMの基礎 ・異常処置対応認定 ・初級品質管理 ・TIE物の流し方 |

③ Q Cサークル

1991年の創業時より活動しているQ Cサークル活動は、サークルメンバーの能力向上・自己表現、明るく活気に満ちた生きがいのある職場づくり、お客さま満足の上昇及び社会への貢献をめざしています。

2019年度は、84サークル計738名がQ C手法を活用し、管理・改善に取り組みました。

その結果、QC三重地区や東海地区主催の4つの大会でそれぞれ表彰され、19.12月の沖縄で開催された全国大会では「感動賞」、ならびに「石川馨奨励賞」を受賞したサークルもあります。

※「石川馨奨励賞」とは・・・

日本の品質管理、T Q C（全社品質管理）の偉大な先駆者でQ Cサークル活動の生みの親・育ての親といわれた故石川馨氏の偉大な業績をたたえるため、1990年に「F Q C賞」（1965年制定）を改称したものです。

④ 社内技能検定（厚生労働省認定）

当社では2017年より高度技能集団企業を目指し、社内検定制度を整備・運用しています。この制度は、当社のモノづくりに必要な技能課題を4つ選びだし、それぞれの課題に合格となった社員を製品製造装置オペレーターとして資格認定する仕組みで、社員の技能を切磋琢磨し継続的に高めていこうとしています。

本制度は、厚生労働省より特に技能振興上奨励すべきものとして認定され「厚生労働省社内検定認定制度」に登録されました。これは制度改正後、第二号となるもので、三重県では第一号となるものです。

2019年度の検定では1級・2級の各級の試験で21名が認定され、各級で最も優秀な成績を収めた1名を、社内検定最優秀者として表彰しました。

⑤ 二輪道場（バイク教室）

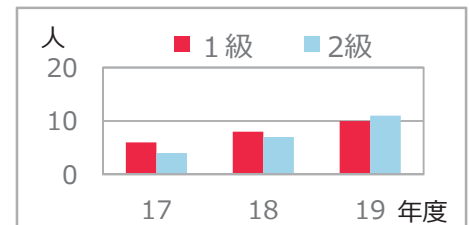
二輪車（バイク）用部品の開発・設計に携わる従業員の社員に関する知識・技能の向上を目的として、2018年に技術棟内に二輪道場を開設しました。

道場では2018年から定期的に二輪車用部品の開発・設計に携わっている社員が参加して「バイク教室」を開講しています。バイク教室では参加者が自分たちの手で実物の二輪車を分解・再組立てし、二輪車の構造に関する見識を深めています。

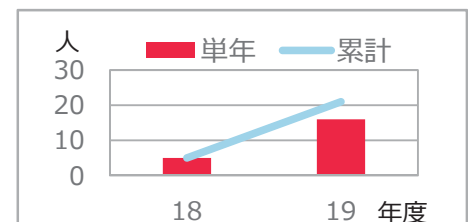
2019年度は延べ23名がこの教室を受講しており、今後も順次技術系の社員を中心に受講していく予定です。



Q C 全国大会 ～宜野湾(沖縄県)～



検定試験の様子



バイク教室の様子

4-2. 社員とともに

関連するSDGs



(1) コミュニケーション

① 全社朝礼

毎月第一稼働日に全社員が集まって全社朝礼を開催しています。社長と部長以上の職制1人から社員に向けた講話を行なうことに加え、優れた成果を収めた社員の各種表彰も行なっています。また、当日夜勤の方や聴覚障がい者の方々にも内容を伝えるべく、全社朝礼ダイジェストを作成し、各職場での展開を実施しています。



全社朝礼社長講話

② 社員親睦

より良い職場環境を築くべく、社員同士や社員と経営層との親睦を図る場を積極的に設けています。これらは係長以下の全従業員で構成される「従業員会」が中心となり運営しています。

【親睦企画一例】

- 4月 新入社員歓迎企画（ボウリング大会）
- 5月 デンソー大安製作所での運動会への参加
- 10月 従業員会・経営層懇談会
- 11月 社内球技大会
ウォーキング大会



運動会（6月）



球技大会（11月）

③ 元気プロジェクト

2016年4月より「お客様から信頼され、従業員が誇りに思える、明るく・楽しく・元気な会社」を目指す、元気プロジェクト活動を開始しました。活動に自主的に参加している社員とともに、様々な取り組みを行っています。2019年度には、以下のように多くの活動を行いました。今後も当社が明るく元気な会社となれるよう、活動を実施していきます。

- 4月 桜まつりの開催
- 6月 デンソーグループグリーンカーテンコンテストへの参加
- 7月 社内七夕飾りコンテスト
- 9月 BBQ大会開催
- 10月 ハロウィンイベント
- 12月 手作り門松設置・クリスマスイベント
従業員への感謝メッセージ・草もち配付



桜まつり（4月）



BBQ大会（9月）

④新成人を祝う会

新成人として晴れて大人の仲間入りをした従業員の成人を祝う会を社内で開催しています。

会では社長・役員からのお祝いの言葉に続いて、新成人にデンソートリムに勤める大人としてふさわしい教養を楽しく身に付けてもらうため、グループ対抗クイズ大会を開催しました。会は終始盛り上がり、和やかな祝福ムードに包まれました。



新成人を祝う会（1月）

⑤グリーンカーテン・コンテスト

デンソーグループでは、6月の「環境月間」に合わせ環境にちなんだ各種行事を展開しており、その一環として「デンソーグループ・グリーンカーテンコンテスト」を開催しています。ゴーヤ部門とフリー植物部門の2部門で、一株あたりの面積及び収穫量・出来栄えと取り組み内容を基準にグループ会社で競います。また当社内でも社員（家族を含む）が栽培しているグリーンカーテンなどを対象として、グリーンフォトコンテストを開催しています。



グリーンフォトコンテストグランプリ作品

⑥ファミリーオープンハウスデー

社員のご家族の皆さんに、会社施策への理解を深めていただくとともに、社員とご家族のコミュニケーションの充実を目的として社内を見学していただく「ファミリーオープンハウスデー」を開催しています。毎年学校の夏休みに合わせて実施し、職場見学に加え、お子さんに「モノづくり」に興味をもってもらえるよう、「モノづくり体験」も実施しています。2019年度は初の試みとして、対象をこれまでの従業員の子ども・配偶者だけでなく、父母・兄弟姉妹まで拡大して実施しました。結果、過去最大となる23家族54名が参加しました。参加者からは「親子三代で楽しめ、子ども孝行・親孝行になった」「職場の皆さんが親切に接してくれて嬉しかった」等の感想があり、大変好評でした。



モノづくり体験の様子



職場見学の様子

⑦従業員2名が国体に出場 **TOPIC**

当社従業員の川北 成美さん、谷口 麻海さんが、2019年9月13・14日に茨城県土浦市で開催された第74回国民体育大会 女子水球に三重県代表選手として出場しました。大会に先立ち、2人の大会での活躍を祈念して9月度全社朝礼の場で壮行会を行いました。また、大会当日には山下社長以下関係者が会場まで応援に駆け付けました。



大会当日の様子

⑧永年勤続表彰

勤続20年を迎え、永く会社に貢献している従業員の労をねぎらい、更なるモチベーションアップに繋げるため、創立25周年を迎えた2015年より永年勤続表彰を毎年継続して行っています。

2019年5月には、今年勤続20年を迎えた11名を対象に表彰式を行いました。式では山下社長からの祝辞の後、参加者に賞状と記念品が贈られました。



永年勤続表彰式（5月）

⑨創立30周年記念植樹 **TOPIC**

2020年3月30日、デンソートリムは創立30周年を迎えました。それを記念して本館来客駐車場南端にて役員と従業員代表による記念植樹会を開催し、「月桂樹」を植樹しました。月桂樹の花言葉は「栄光」「栄誉」であり、この創立30周年をきっかけに、デンソートリムのさらなる飛躍（栄光）につなげていきたいとの思いが込められています。



創立30周年記念植樹会（3月）

（2）社外表彰

①優良勤労者表彰

2019年11月、当社社員1名が四日市労働基準協会より優良勤労者として表彰されました。

これは会社への永年勤続とその業績（具体的には、品質管理に熱心に取り組み品質の安定、向上に大きく寄与し他の模範として、企業発展に貢献していること）を評価されたものです。



表彰された森寺さん

②グローバルデンソー省エネポスターコンクールで入賞 **TOPIC**

デンソーグループでは毎年6月を環境月間と定めており、それに合わせて様々な環境に関する取り組みを行っています。

その活動の一環としてデンソー本社、海外拠点、国内グループ会社を対象に省エネポスター作品の募集がありました。このコンクールで当社社員の佐々木 薫さんの作品が、応募総数1093作品の中で特に優れた34作品に与えられた「地域賞」を受賞しました。



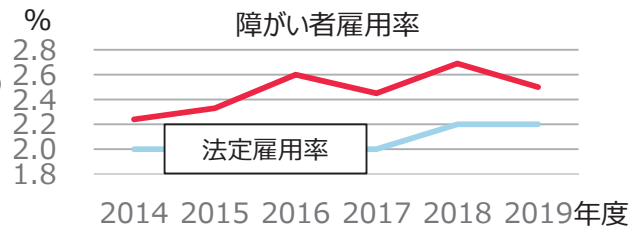
受賞作品（左）、受賞記念撮影（右）

(3) 多様な人々が活躍できる職場づくり

当社はダイバーシティ推進を重要な経営戦略の一つと位置づけ、すべての従業員が長く活躍できるよう様々な活動を推進しております。

①障がい者雇用

聴覚障がい者の方同士の横の繋がりを持つ場として、聴覚障がい者だけの懇親会を定期的に開催し、そこで会社や職場への要望等も確認・対応しています。



②ワークライフバランスの支援

多様なライフスタイルの社員にとって働きやすい会社となるため、仕事と私生活の両面を支援するための柔軟な制度を整備しています。

育児中も仕事を続けられるよう、法定以上の休職制度勤務体系を整備しています。

- ・短時間勤務：子が小学校に入学するまで（法律は3歳に達するまで）
- ・時間外労働免除：子が小学校に入学するまで（法律は3歳に達するまで）

育児短時間勤務制度利用者の声

二人目の育児休暇明けに、仕事と子育てが両立できるか不安であったため、当制度を利用しました。生活リズムが整うまでは大変ですが、精神的にも時間的にもゆとりができ、今では両立できていると感じています。当制度を利用することで、周囲の方の共感やサポートも受けることができ、自分自身も業務改善を行うことで、限られた時間内で仕事を進めていけています。



技術管理部 小林さん

③女性活躍・キャリア形成支援

若年層社員のキャリア形成支援を中心に活動を推進しています。その活動の一環として、2018年度の実務職を対象とした将来のキャリアビジョンを考える講習会に続き、2019年度は実務職とその上司がお互いのコミュニケーションをより促進し、今後のキャリアアップ支援や組織力向上に向けた合同研修を開催しました。

④シニア社員の活躍推進

今後増加が見込まれるシニア社員がいきいきと働き、その豊かな経験と能力を最大限発揮できる環境や制度の整備を推進しています。

- ライフマネジメント研修（定年後の生きがい、健康、生活設計を50歳で考える）
- 振り返り研修（ライフマネジメント研修受講後 5年で、生活設計を再度考える）
- ネクステージ面談（定年後の働き方を55歳から上司との面談を通じて考える）
- キャリアアソシエイト制度(意欲・能力のある方の60歳以降の活躍を推進する)
- 65歳以降雇用(個人スキルを有する方の指導員制度あり)

⑤外国籍人材の採用

国籍にとらわれない採用活動を行っており、2019年度には中国出身の1名を技術系総合職として採用しています。

外国籍人材の声

上司や周りの先輩達が優しく、外国人の私にも仕事の内容を納得するまで根気よく教えてくれます。配属されたばかりの頃はたくさんの失敗をしました。しかし再発を防ぐにはどうすれば良いかを上司と一緒に考えてくれました。「失敗は成長の一部だ」と声をかけてもらったことが、とても印象的です。



ACG技術部 巴 洪強さん

(4) こころとからだの健康管理

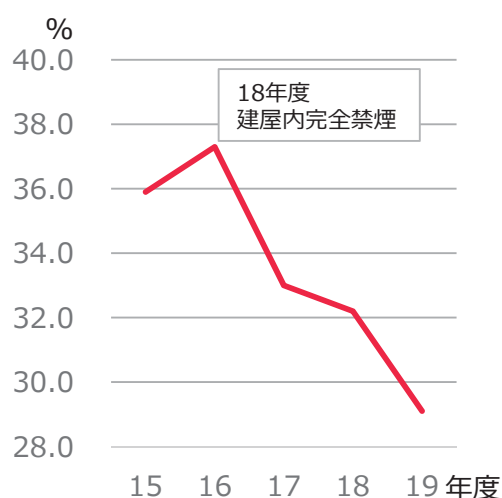
当社では、社員の心身両面の健康づくりを進めています。増加傾向にある生活習慣病（脂質異常症・高血圧・糖尿病など）の予防としては、特定保健指導の対象者に対して、食生活の改善と運動習慣の定着に向けた教育指導を3ヶ月間継続実施。また仕事でストレスを感じる勤労者が増加しているなか予防・再発しどう防止を図るべく、メンタルヘルスケア体制充実や管理者教育などに取り組んでいます。

喫煙・受動喫煙抑制に向け、ワークタイム禁煙（昼休憩以外は禁煙）を導入、2018年度から喫煙できるのは屋外喫煙所のみとし、21年度から構内喫煙に紙巻煙草は禁止を告知し禁煙を促しています。また労働過多者に対して健康診断（長時間労働の抑制）や有休取得管理の徹底をするため毎月の合同職制会の中で各部署の有休取得率の展開をするなど働き方の改善指導を継続的に行っています。

①活動実績および今後の計画

| | | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
|-------|------------------|-----------------------|----------|----------------|------|--------|
| 全社ルール | | ワークタイム禁煙 【昼休憩のみ喫煙】 | | | | 紙巻煙草禁止 |
| | 屋外喫煙所設置 建屋内禁煙 | 屋外喫煙所設置 | | 建屋内完全禁煙 | | |
| | 屋内喫煙所閉鎖 | 2階南・1階北・耐久棟 | 2階北 | | | |
| 卒煙支援 | 啓蒙など | 販売中止 | 卒煙啓発セミナー | 紙巻煙草禁止告知・加熱式紹介 | | |

②喫煙率推移



(5) 防災（災害への備え）

東日本大災害での教訓を踏まえて、デンソーグループでは「震災リスク対応」の見直しを進めています。当社では、全社員が災害発生時に自発的に初期活動や救命活動できるようにするために、2014年度より菰野消防の指導に基づき各職場防災リーダーを育成し、社内で「消火器・消火栓訓練と救命AED講習」を実施しております。2016年度からは社内で防災リーダーの育成ができるように、「公的資格（応急手当普及員）を取得した社員が職場防災リーダーの育成をする体制」を整備しました。

地域との連携を強化するため、当社社員が地域防災訓練に毎年参加しています。19年度には菰野消防署、町内の各消防団と合同で特別消防訓練を行いました。訓練では当社建屋での火災発生を想定し、従業員による初期消火や消防団と消防署との連携による見事な放水訓練が実施されるとともに2階からの負傷者救助のシミュレーション実施が行なわれました。

| 内容 | 対象 | 2019年度在席 |
|--------------|-----------|----------|
| 応急手当普及員 | 社内防災隊班長 | 8名 |
| 普通救命講習／消火器講習 | 各職場防災リーダー | 52名 |



特別消防訓練の様子（一斉放水）

(6) 安全な職場づくり

「安全は全てのものに優先する」を合い言葉に、経営層による安全巡回、安全サークル活動、職場安全診断を始めとする物的対策・啓蒙活動を地道に気を緩めることなく継続しています。また、2017年には「安全道場」を開設し、従業員へ安全に関する体感教育を行っています。これらの施策の結果、操業以来「休業災害以上0」を継続しており、2016年1月18日には第四種無災害記録（2,370万時間）を達成しました。今後も愚直に安全活動に取り組み、「災害ゼロ」を目指します。

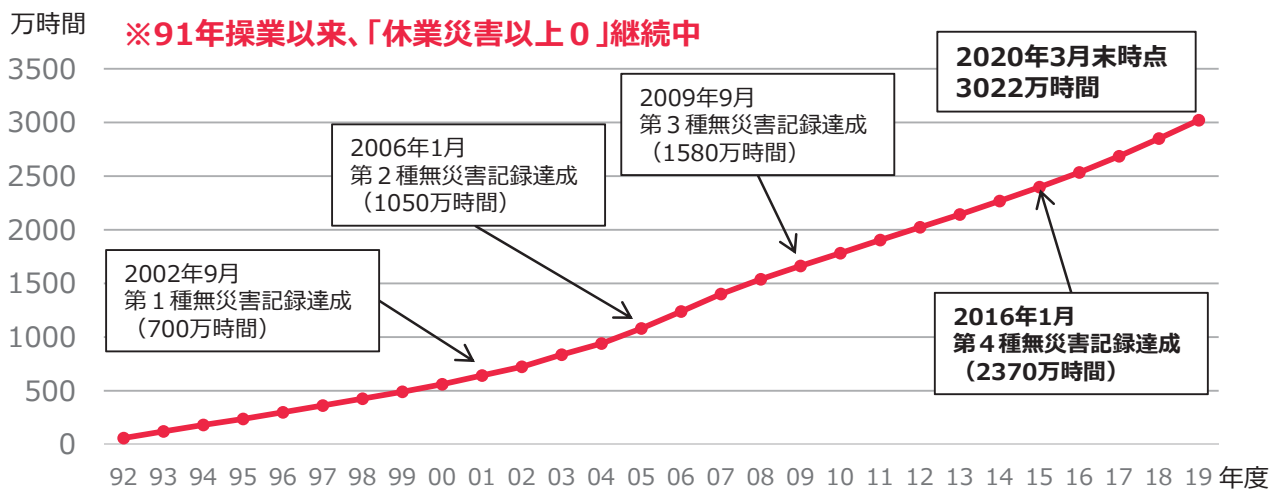
①安全指標（2019年度）

| 管理項目 | 目標 | 実績 | 評価 |
|-------|----|----|----|
| 重大災害 | 0件 | 0件 | ○ |
| 休業度数率 | 0 | 0 | ○ |
| 出火事故 | 0件 | 0件 | ○ |
| 職業性疾病 | 0件 | 0件 | ○ |

②安全施策

| | 15年 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 |
|---------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 自発的に安全行動できる意識の浸透 | 3S 対話3-3 安全日めくりカレンダー安全・歩行5訓の徹底 | | | | |
| | 安全基本行動の教え込み | | | | |
| | 班長安全宣言 | | | | |
| リスク先取りによる重大災害防止対策強化 | 公開段取 トップ層による確認 | | | | |
| | トップ安全・5S診断・環境重要設備巡回 | | | | |
| | 重大リスク低減安全対策 | | | | |
| | フォークリフト／大型開口部／成形機／クレーン／ロー点検 安全装置無効化防止対策 いじり防止ネジ装着 | | | | |
| マネジメントの強化 | OSHMS全社活動(リスクアセスメント)／化学物質強化 | | | | |
| | 異常処置認定教育 | | | | |

③無災害時間（休業以上）



第四種無災害記録認定証



安全道場外観



経営層による安全診断（公開段取り）

4-3. 地域・社会とともに

関連するSDGs



(1) 地域との対話を深める懇談会開催

当社では年に一度、地元の代表の方々と菰野町役場の方を会社にお招きして「当社の最近の事業活動や環境活動への取り組み状況」をご説明し、ご理解いただくと共に、地元の皆様からは会社に対してご意見・ご要望をお寄せいただいています。

2019年度は、11月に菰野町役場から2名、地元池底区・大強原区から6名、計8名の皆様に参加いただき、環境取り組み体制や環境データの測定結果（工場排水の水質・敷地境界の騒音振動レベル）等を説明し、工場もご視察いただきました。

懇談の場では、年4回実施しているゴミゼロ活動や、地域社会に貢献する交通安全活動の一環として2015年から取り組んでいる「カーブミラー清掃」に感謝の言葉をいただきました。

当社は今後とも、地域社会の一員として地元の行事などに積極的に参加すると共に、情報公開を推進し、周辺住民の方々や行政機関との対話を図ってまいります。



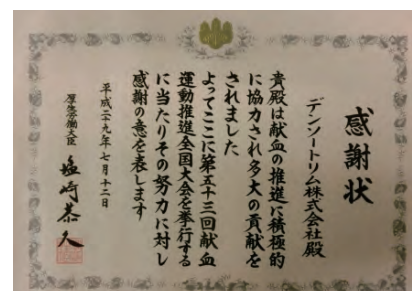
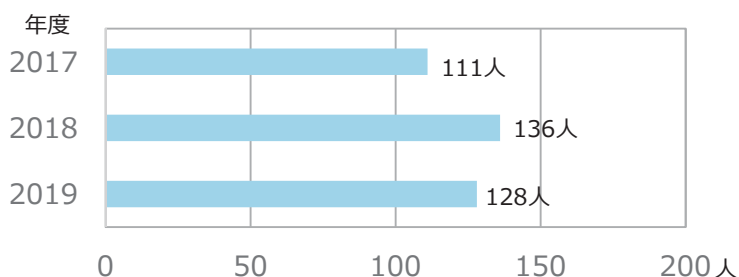
(2) ボランティア活動

当社では地域社会の一員として「私たちがお世話になっている地域の環境保全活動に少しでも貢献しよう」と会社周辺の環境美化活動を定期的に行っていることをはじめとして、様々なボランティア活動を行っています。当社はこれらの活動を「デンソーグループ・ハートフルデー」の取り組みとして、今後も大切にしていきます。

① 献血活動

私たちの血液で命を救うことを実践するために、1995年より社内で献血活動を平日の勤務時間内に年2回（春・秋）実施しています。

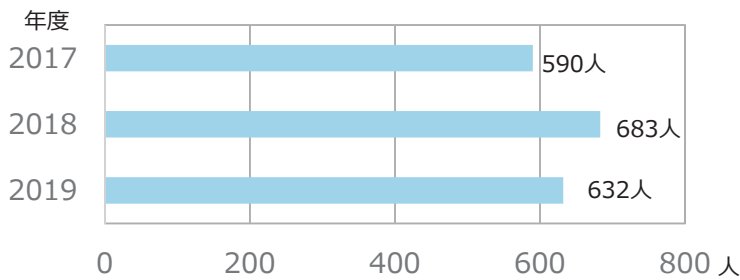
2017年8月には献血の推進に寄与した事業所として、厚生労働大臣より感謝状をいただいています。



感謝状（厚生労働大臣より）

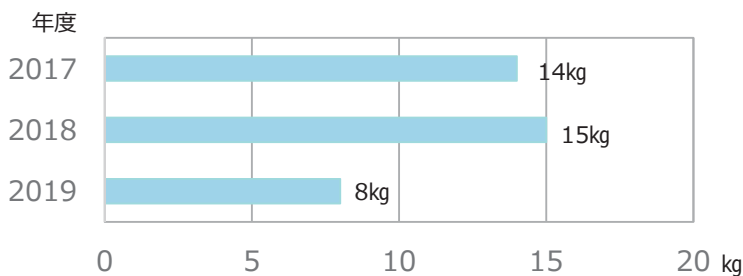
② ゴミゼロ活動(年4回;1996年～)

ゴミをなくして、綺麗な街並にするために、社員本人だけでなく、その家族も一緒に参加して清掃活動を行っています。



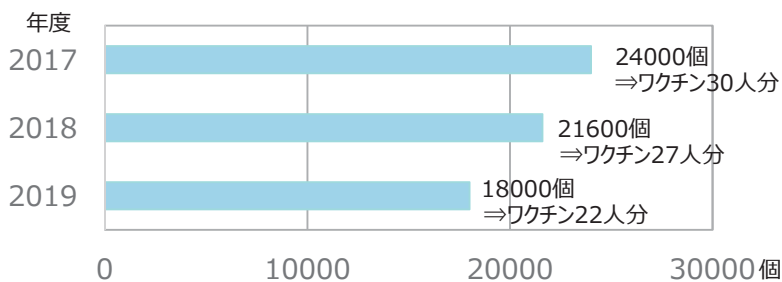
③ 空き缶のプルトップ収集 (2009年～)

障がいのある子供たちに車いすを贈るためにプルトップ収集を継続しています。自販機や各職場に収集箱を設置し、気軽にボランティアができるようにしています。約200kgのプルトップで車いす1台が贈れます。



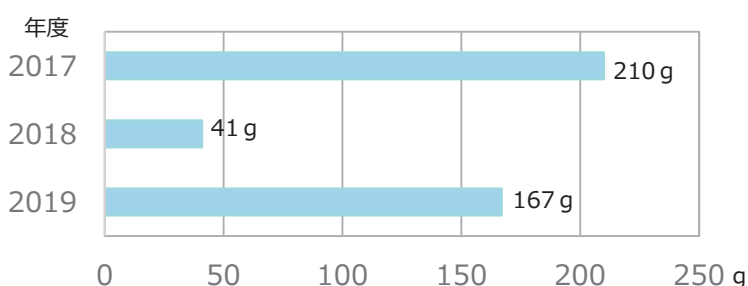
④ ペットボトルのキャップ収集 (2010年～)

世界の子供をワクチンで病気から救うために、ペットボトルキャップを収集しています。本館と技術棟入口に収集BOXを設置し、確実に回収できるようにしています。満杯になると(2400個) 3人分のワクチンが購入可能となります。



⑤ 使用済み切手収集 (2013年～)

地域の福祉活動推進に役立てていただくために、使用済み切手を収集しています。菰野町社会福祉協議会を通じて福祉用品を贈っています。



(3) 交通安全活動

当社では交通安全行動を率先垂範できる社員づくりをめざすとともに、地域社会の交通安全に貢献していくため様々な活動を行っています。これらの活動を評価いただき、2018年6月に三重県交通安全協会より交通安全優良団体として表彰を受けました。

また、全従業員が飲酒運転を含む悪質運転（デンソーグループでは飲酒運転・無免許運転・ひき逃げ・当て逃げ・暴走行為を悪質運転と呼び、その根絶に努めています）を絶対にしない・させない・許さないことを宣言し署名した、悪質運転撲滅宣言書を四日市西警察署に提出しました。社員一人ひとりが、交通安全行動を率先垂範できるよう努めます。

| 実施項目 | | 内容 |
|------------|--------------------|-----------------------------------|
| 社員への交通安全教育 | 新入社員の通勤経路同乗指導（4月） | 免許取得1年未満の新入社員に対し上司による同乗指導を実施 |
| | 交通安全懇談会（月1回） | 毎月、交通安全に関する資料を提供し、各職場が話し合いを実施 |
| | 交通安全タッチ&コール（毎日） | 毎日朝礼時に各職場単位で交通安全10カ条の唱和を実施 |
| | 交通安全決起大会（8月・12月） | 四日市西警察署交通課長を講師に招き全員参加で実施 |
| | 若年層向け社外交通安全講習（11月） | 自動車学校の指導で自分自身の運転を見つめ直し、安全運転の意識を高揚 |
| 通勤車両管理 | 西門立哨（月1回） | 当社西門にて通勤車両のルール・マナー状況確認し、指導を実施 |
| | 通勤車両チェック（随時） | 違法な車両が無いか確認を実施 |
| 地域活動 | ミルミルウェーブ（年2回） | 四日市西交通安全協会主催の、街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施 |
| | 地域立哨（月1回） | 地元地域での街頭立哨にて交通安全の呼びかけを実施（永井交差点にて） |



悪質運転根絶宣言書提出



ミルミルウェーブ



交通安全決起大会

(4) その他の活動

① 高校生の「職業意識形成」支援活動

近隣の高校生が職業への理解を深め、進路選択・決定の一助となるような支援活動を実施しています。

i インターンシップ受入れ (2001年～)

作業員として3日間程度、生産職場で実習を行ない、製造工程の技能や決め事に触れて、働くことの厳しさ面白さを、体感していただきます。高校生だけでなく、障がい者（生産職場）、大学院生・大学生（技術系職場）の受入も行なっています。

ii 会社見学受入れ (2006年～)

生産現場を案内し、仕事内容を説明することで、製造職への理解を深めます。

iii 出前授業 (2007年～)

授業の一つとして、教室や体育館で「就職・働くとは？」というテーマで講義をします。

・19年度活動一覧

| 19年度 | 内容 |
|------|--------------------|
| 11月 | インターンシップ受入 (2名) |
| 11月 | インターンシップ受入 (2名) |
| 11月 | 工場見学受入 (2年生 12名) |
| 12月 | 出前授業 (2年生 170名) |
| 12月 | 工場見学受入 (2年生 15名) |
| 2月 | 工場見学受入 (1～3年生 20名) |
| 2月 | 工場見学受入 (2年生 15名) |
| 3月 | 出前授業 (2年生 47名) |
| 3月 | 出前授業 (2年生 236名) |



会社見学



出前授業

② 鈴鹿山麓かもしかハーフマラソンへの協賛

菰野町では、「鈴鹿山麓かもしかハーフマラソン」が開催されており、2019年で第14回大会となります。当社は第1回から、地元へ協力する為に協賛し応援をしております。2018年の第13回大会からは会場に当社のPRブースを出展させていただいております。

③ 鶉の里まつりへの協賛

鶉川原地区（大強原、下村、川北、池底、吉沢、諏訪）では、毎年「鶉の里まつり」が開催されております。当社では、2010年から地元へ協力するために協賛し応援をしております。



かもしかハーフマラソン (10月)



鶉の里まつり (10月)

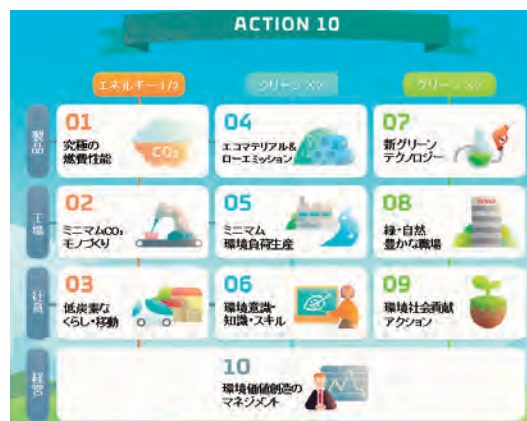
5. 環境報告

関連するSDGs



デンソーグループは、「人と地球にやさしいクルマ」の実現を通じて「先進的なクルマ社会の創造」に貢献できる企業グループをめざしています。そのため、製品・生産にとどまらず事業活動のあらゆる分野で環境負荷を削減すると同時に、世界でトップクラスの環境効率や高い資源生産性を追求しています。あわせて環境保全活動を通じて経済価値を創出する「環境経営」を推進しています。

デンソートリムでは2016年から「次の10年」に向けた長期ビジョンである「デンソーエコビジョン2025」に基づき、デンソーグループ全体で「エネルギー1/2(省エネ)」、「グリーン×2(環境負荷低減)」、「グリーン×2(環境保全)」に取組み、持続可能な社会の実現に向け、積極的に活動を展開しています。



〔デンソーエコビジョン2025〕

5-1. 環境方針

(1) 理念

当社は鈴鹿山系の麓に位置し、緑豊かな環境に恵まれている。この美しい自然を健全な状態で次世代に引き継ぐよう積極的に「環境保全」に努める。

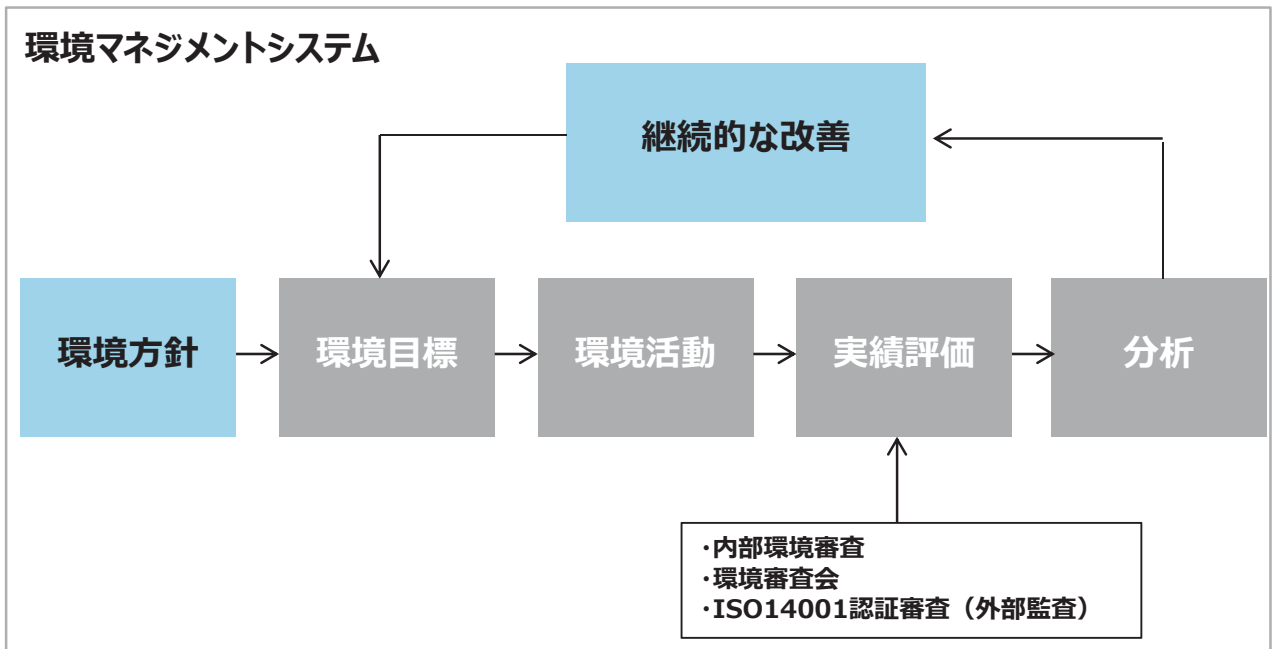
(2) 方針（骨子）

1. 法規順守と環境汚染の予防等により環境の継続的改善に努める。
2. 製品企画段階から排出物及びエネルギーの低減に取り組み、環境負荷を総合的に低減させる。
3. 環境教育・啓蒙活動を通じ、各業務段階で従業員一人ひとりの環境保全意識を高めていく。
4. 地域社会の一員としての自覚と責任をもち、社会との良好な共生関係を築く。
5. この環境方針は社内外へ公開する。

スローガン：「次世代へ引き継ごう、澄んだ空気と豊かな緑」

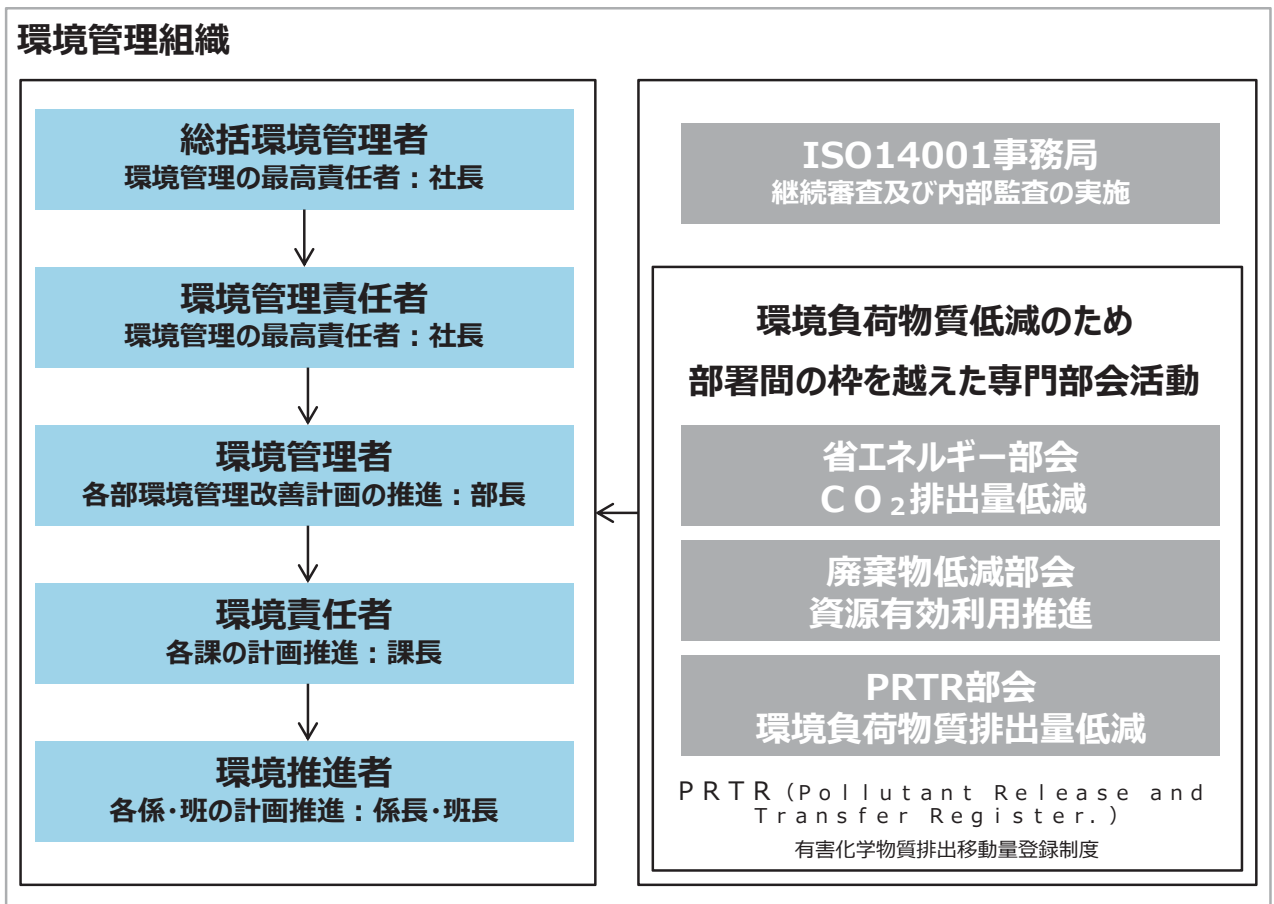
5 - 2. 環境監査体制

国際規格ISO14001に基づき、「環境マネジメントシステム」を構築しています。



5 - 3. 環境推進体制

1999年10月に「デンソートリム環境管理組織」を設置し、会社全体として環境問題を審議し、統括する体制を構築しました。同時に、個別の課題を解決するために「専門部会」を設置し、取り組みの強化を図っています。



5-4. 環境行動計画

(1) 2019年度の取組項目と実施事項

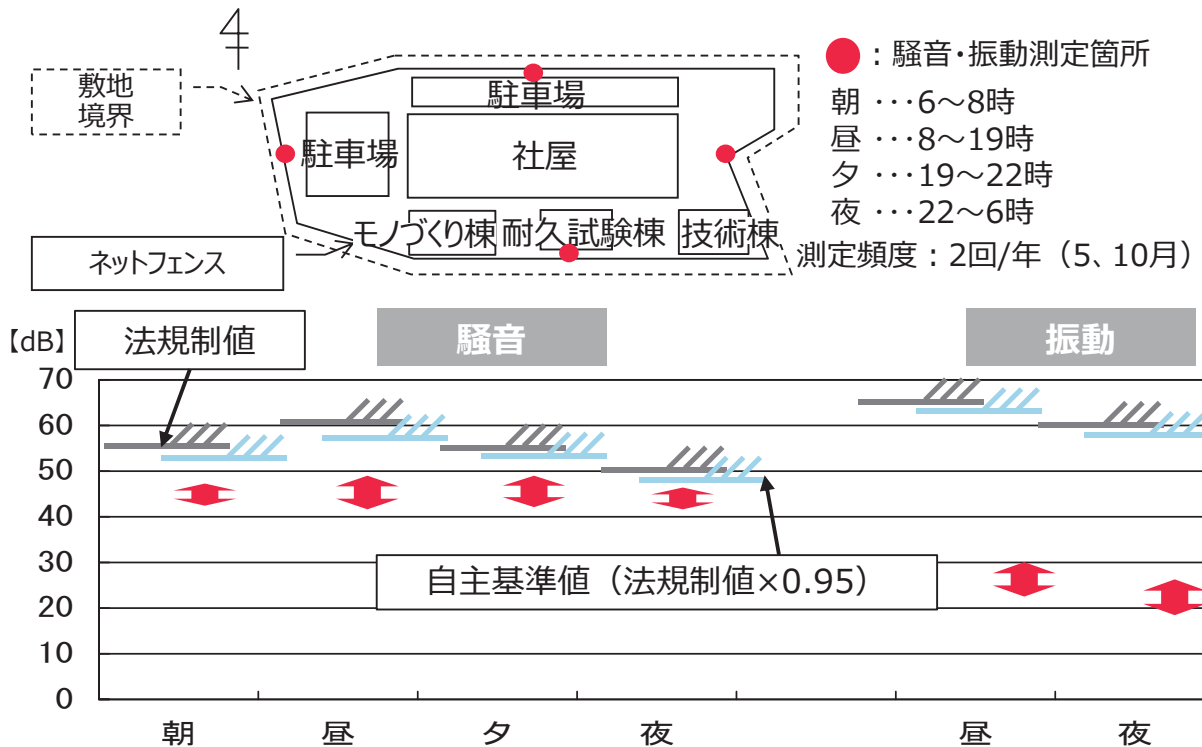
仕事の各段階で環境負荷低減を目指し、具体的な活動項目と目標を定めて、環境保護に取り組んでいます。

| デンソー エコビジョン | 項目 | 取組み方針 | 実施事項 |
|----------------------|---------------------------------------|---|---|
| [01]究極の燃費性能 | 車社会における消費エネルギー製品の開発及び生産 | 低燃費に貢献する製品の設計及び製造 | 2輪車用アイドルストップ製品の開発及び生産 低燃費関連製品である0.2センサやハイブリット関連製品の製造 |
| [02]ミニマムCO2モノづくり | 生産CO2削減 | 省エネルギーの推進 | 目標：CO2排出量 前年度比▲4% |
| [03]低炭素な暮らし・移動 | 業務移動における化石エネルギー使用の低減 | 社有車更新・導入時エコカー導入 | 社有車ヘドドライブレコーダーを装着 エコドライブの推進 |
| [04]エコマテリアル&ローエミッション | グローバル規模の環境負荷物質規制への積極的な切り替え推進 | デンソーからの展開事項の順守 | デンソー図面指示の順守100% |
| [05]ミニマム環境負荷生産 | 排出物削減&廃棄物削減(ゼロエミアドバンス) | ・排出物削減の推進 ・リサイクルの質向上 (マテリアルリサイクル化等) | 目標：前年度比▲0.5% 目標：前年度実績の維持 |
| [06]環境意識・知識・スキル | 環境業務従事者の環境設備・作業リスクの知識・対応力強化 | 環境重要設備異常処置訓練実施 環境教育の実施 | 環境重要設備 4施設の訓練実施 1回/年 従業員 2H/人 実施 |
| [08]緑・自然豊かな職場 | 緑豊かな工場づくり | 工場の緑化 | デンソーグループ・グリーンカーテン コンテスト参加 |
| [09]環境社会貢献アクション | “グリーン&クリーン”をテーマとしたOne DENSO Actionの推進 | ハートフルデー「ゴミゼロ活動」の継続実施など地域貢献の推進 | 地域清掃を年間3回の実施 (含む 地元地区のカーピラー清掃) |
| [10]環境価値創造のマネジメント | 環境CSR情報の積極的な発信と地域社会等との双方向コミュニケーションの推進 | 環境コンプライアンス徹底 | 環境マネジメントシステムの運用改善 (ISO14001認定更新) 法順守100% |

5-5. 法規順守状況

・騒音振動測定結果

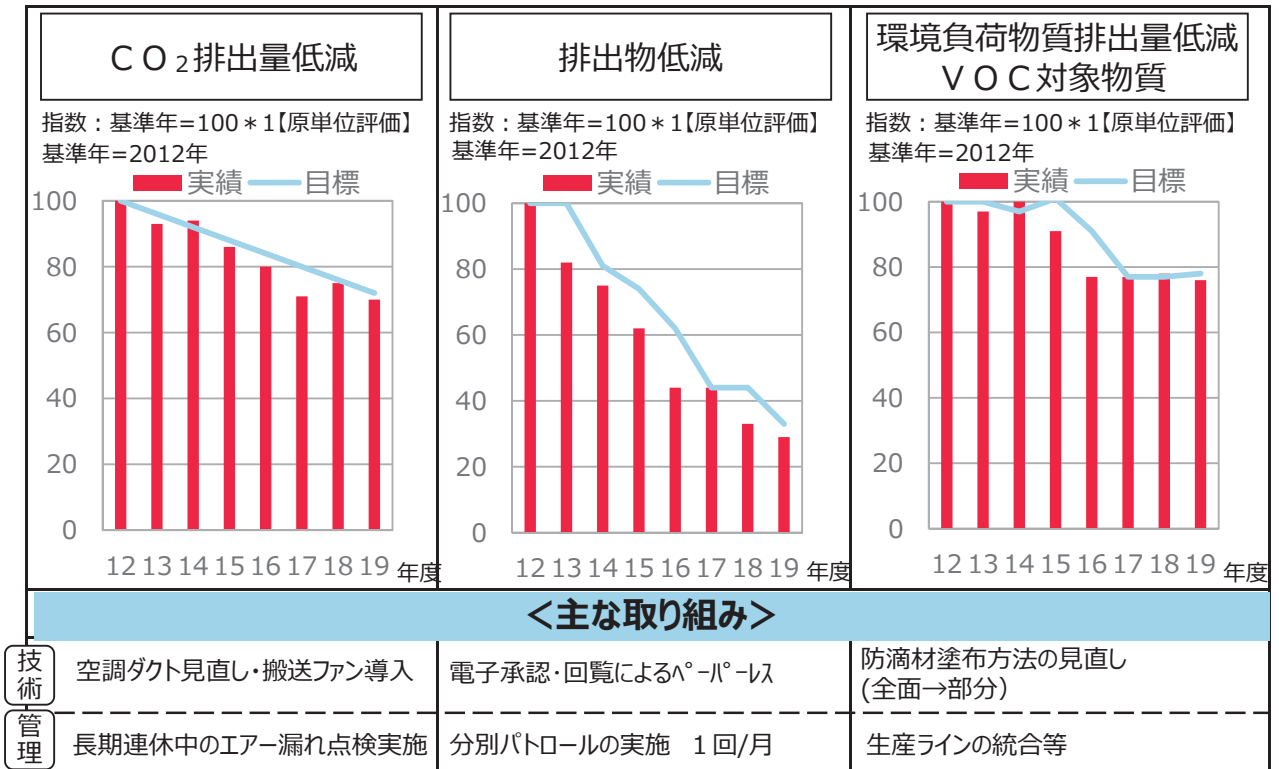
騒音、振動とも社内基準値以下の問題の無いレベルです。



5-6. 生産環境負荷削減

(1) 生産環境負荷の削減活動状況推移について

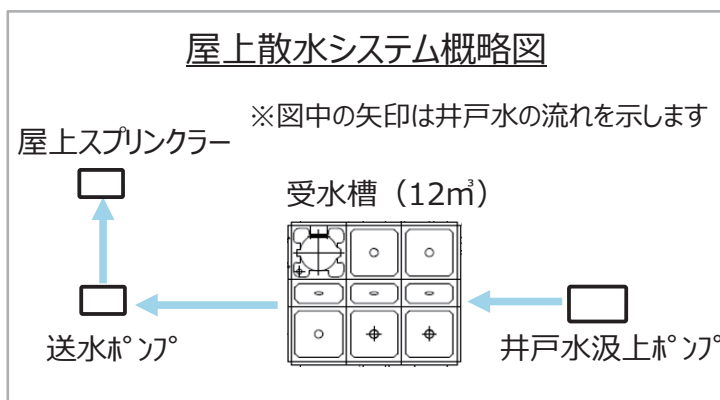
継続的な改善活動で2019年度目標は達成。さらなる改善に取り組みます。



* 1【原単位評価】：生産金額1億円当たりの排出量
 VOC：Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）

(2) 省エネ活動

当社では「エコファクトリーへの進化」を目標に省エネ活動を推進していますが、近年電子製品の生産が増加している中、その生産環境整備のため空調能力増強を進める必要があり、電力使用量の増加が見込まれています。そのため、当社は空調熱負荷低減による空調効率化を中心に省エネ活動に取り組んでいます。2019年度にはその活動の一環として、「屋上散水システム」を導入しました。屋上散水システムとは、屋根に特殊なスプリンクラーで直接水を掛け、温度上昇を抑えることで室内空調機の省エネを図る仕組みです。散水には工場敷地内に設置した井戸から汲み上げた水を活用しており、電力だけでなく水資源の省エネ化にも貢献しています。また、この井戸水を緊急時には飲料水として活用できるように、浄水装置を設置し、災害対策の強化を図っています。



屋上散水システム作動中の様子

5-7. 2019年度環境活動状況まとめ

各環境目標は達成しておりますが、改善の手を緩めず、今後も「地域からより信頼される企業」を目指し、環境保全活動を推進します。

| 項目 | 実施事項 | 目標 | 2019年度実績 | 評価 |
|-------------------|---------------------------------|-------------------|-----------------------------------|----|
| 報規則などの遵守 | 水質、騒音、振動定期測定 届け出報告実施 | 社内基準値以内 漏れなく実施 | 全て満足 | ○ |
| | 公害および苦情ゼロ | 0件 | 0件 | ○ |
| 環境負荷の削減 | CO ₂ 排出量低減 ・排出量低減 | 前年度比 ▲4.0% | ▲7.2% | ○ |
| | 資源有効利用推進 ・排出量低減 | 前年度比 ▲0.5% | ▲11.7% | ○ |
| | ・ゼロエミアドバンス | 前年度実績の 維持 | ▲7.2% | ○ |
| | ・ゼロエミ継続 (埋立廃棄物低減) | 150kg/月以下 | 70kg/月 | ○ |
| 環境行動に関する 地域貢献等 | 地域活動への積極的な参画 ゴミゼロ活動への参加 | 4回/年 開催 | 3回開催 ※3月実施分はコロナ 感染拡大防止のため自粛 | △ |
| | 課単位での環境教育の実施 | 2 H/人・年以上 | 2 H | ○ |

6. 製品を通じての社会貢献

関連するSDGs



環境

二輪車・四輪車の燃費を向上し、排出されるCO₂の削減に貢献しています。

<二輪製品>

ACジェネレータ アイドルストップ用 ECU・ O₂センサ
スタータジェネレータ イグナイタ



<四輪製品>

O₂センサ クランクセンサ 電池監視
ユニット デジタルEGTS
サーキットASSY



EGRTS NOx-SCU FPC



安心・安全

夜間・雨天時の視認性を向上し、運転者の負荷低減・交通事故の未然防止に貢献しています。

<四輪製品>

LDM ランプECU AFS ECU



AHS ECU レベリングECU レインセンサ



快適

寒冷時の車室内暖房の熱源として、快適な移動空間を提供しています。

<四輪製品>

クイックヒータ



編集後記

当社では、2012年からCSR（企業の社会的責任）への取組みを報告すべく「CSR報告書」を発行させていただいております。本冊子「CSR報告書2020」では、「CSRマネジメント」「社会性報告」「環境報告」の各分野別に、2019年度の活動を中心に紹介させていただきました。

当社は今後も地域社会の一員として、環境・安全活動並びに社会貢献活動に積極的に取り組んでまいりますので、本報告書をご覧いただいた皆さまから忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いに存じます。

また、当社はCSR活動についても（株）デンソーと連結経営を行なっております。（株）デンソーの「統合報告書（<https://www.denso.com/jp/ja/investors/library/annual-report/>）」も併せてご覧下さい。

2020年 11月

発行者 **株式会社デンソートリム**
〒510-1222 三重県三重郡菰野町大強原赤坂2460

発行日 2020年11月20日

お問合せ先 株式会社デンソートリム 人事総務部 総務室
TEL 059-391-0011 FAX 059-391-0050

株式会社 **デンソートリム**

DENSO TRIM CORPORATION